JP

クイックスタートガイド (マニュアル (完全版) は behringer.com をご覧ください)

XENYX UFX1604

Premium 16-Input 4-Bus Mixer with 16 x 4 USB/FireWire Interface,
16-Track USB-Recorder, XENYX Mic Preamps & Compressors,
British EQs and Dual Multi-FX Processors

behringer

JP 安全にお使いいただくために

注意
感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意
火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意
このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意
取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ(三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

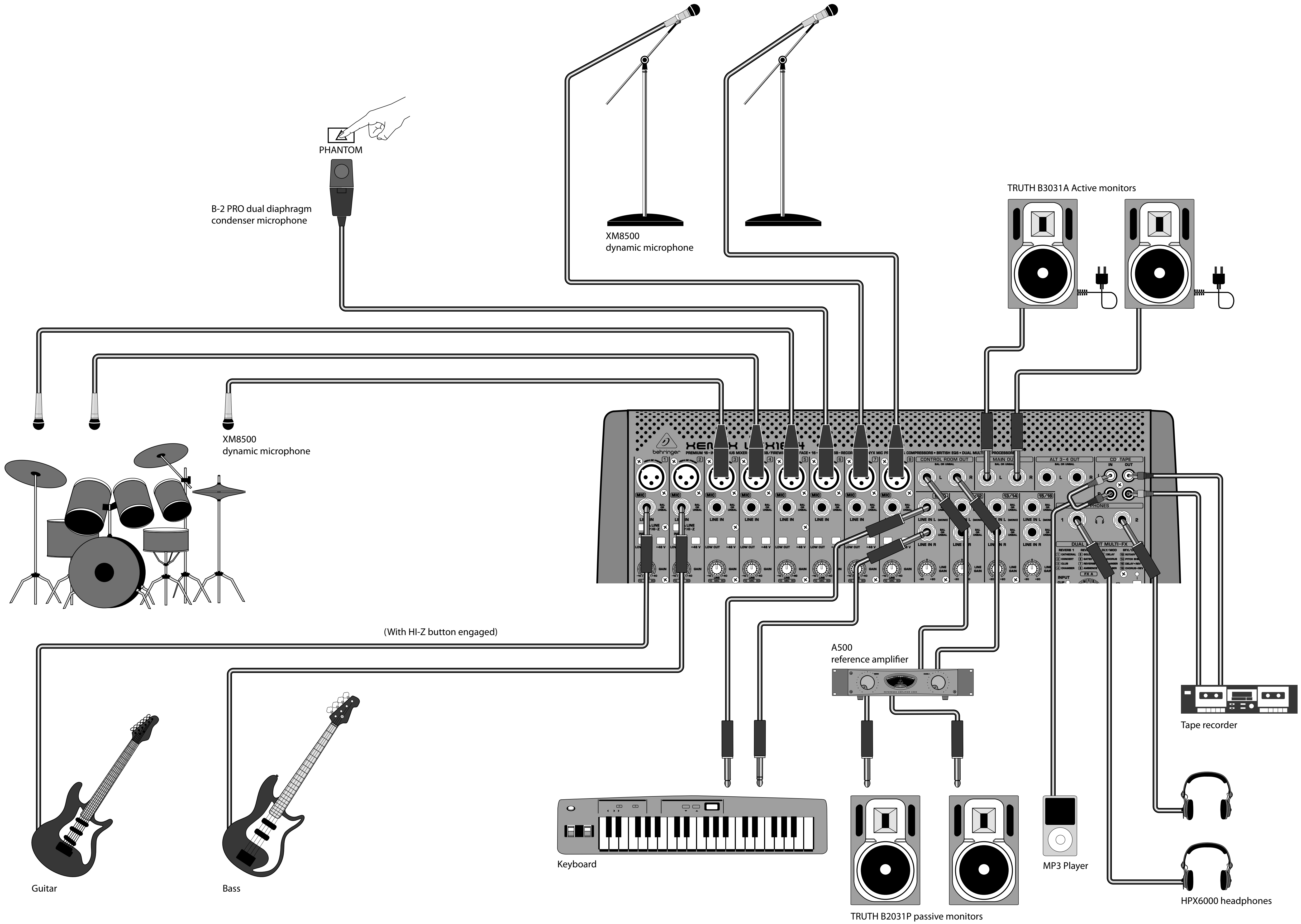
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

XENYX UFX1604 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

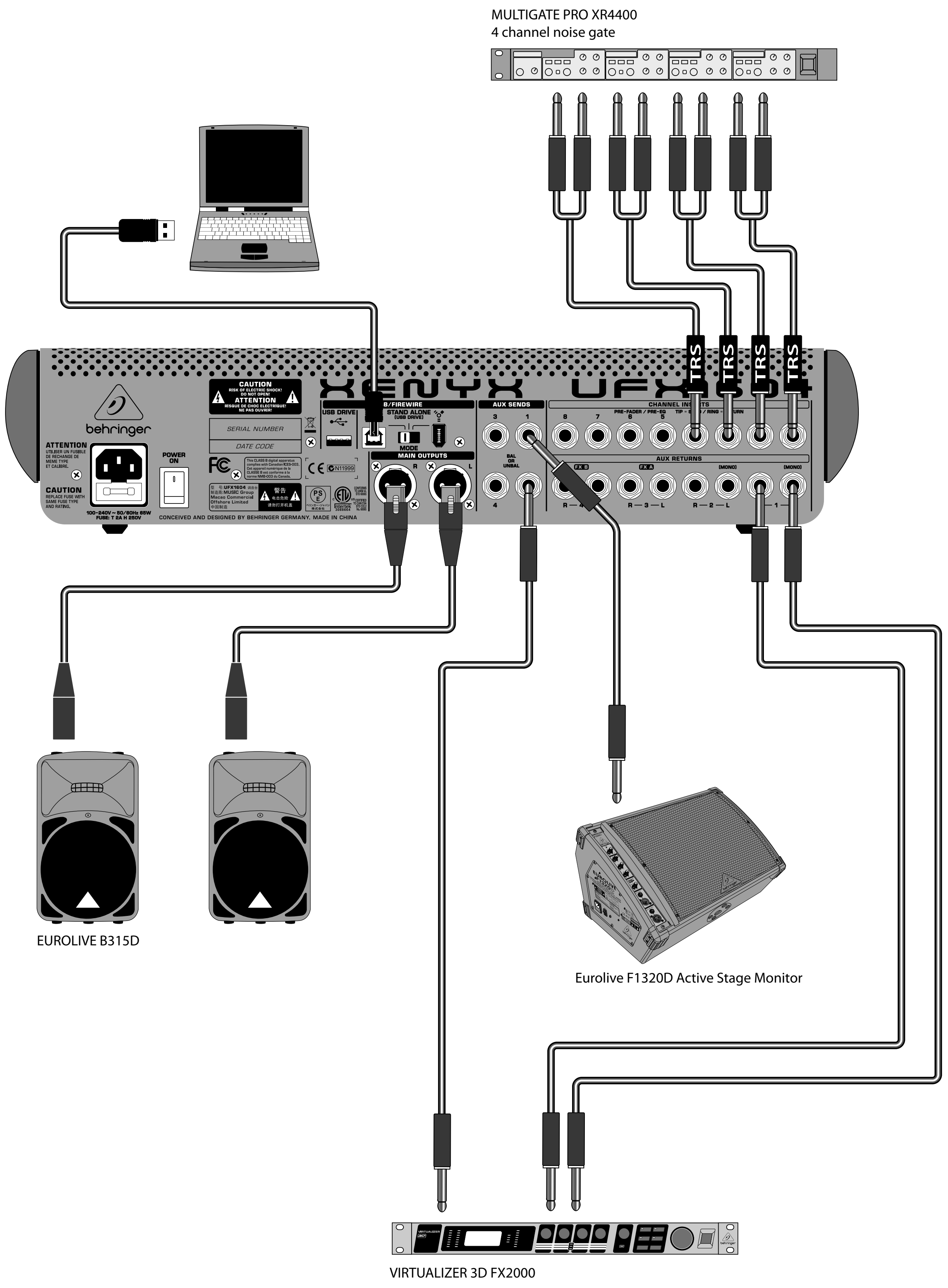
Top View Hook-Up



XENYX UFX1604 フックアップ

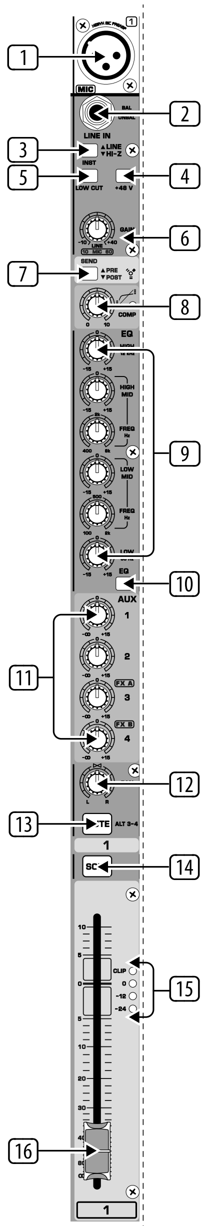
ステップ 1: フックアップ

Rear Panel Hook-Up

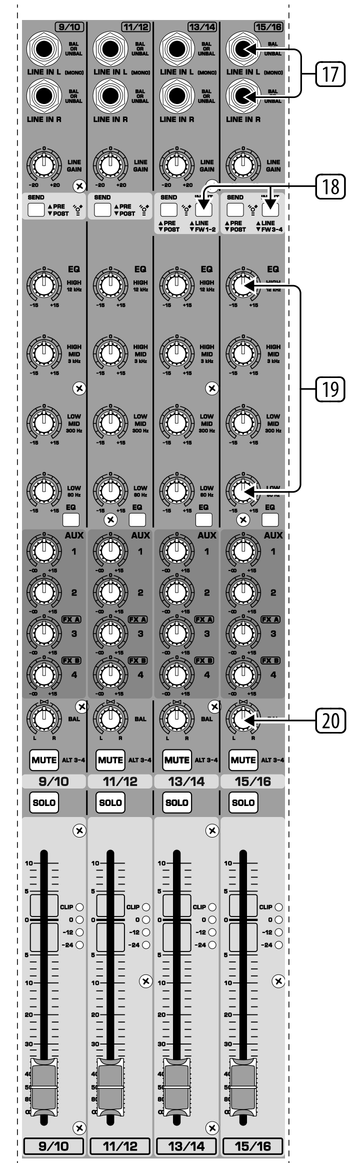


XENYX UFX1604 コントロール

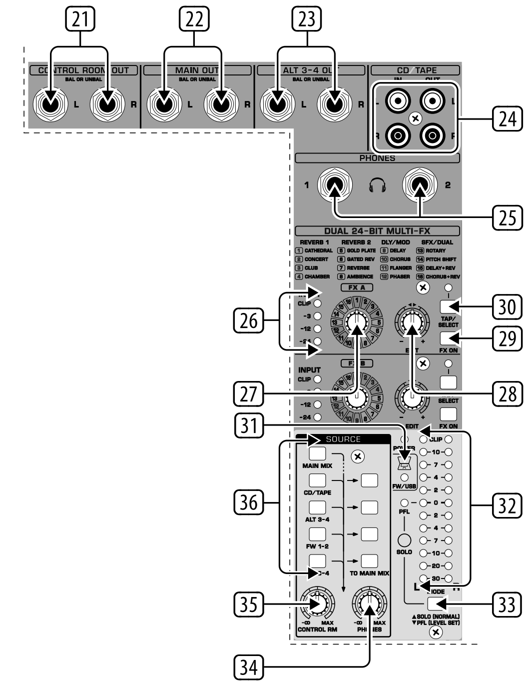
ステップ 2: コントロール



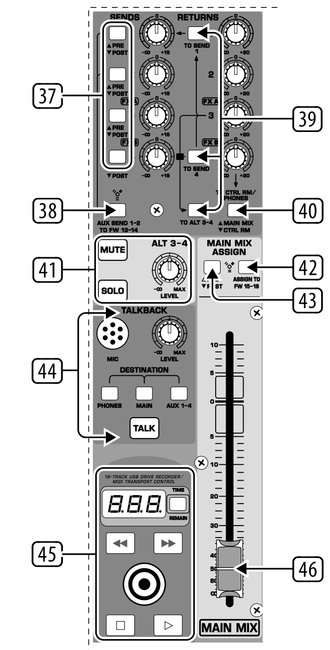
Controls



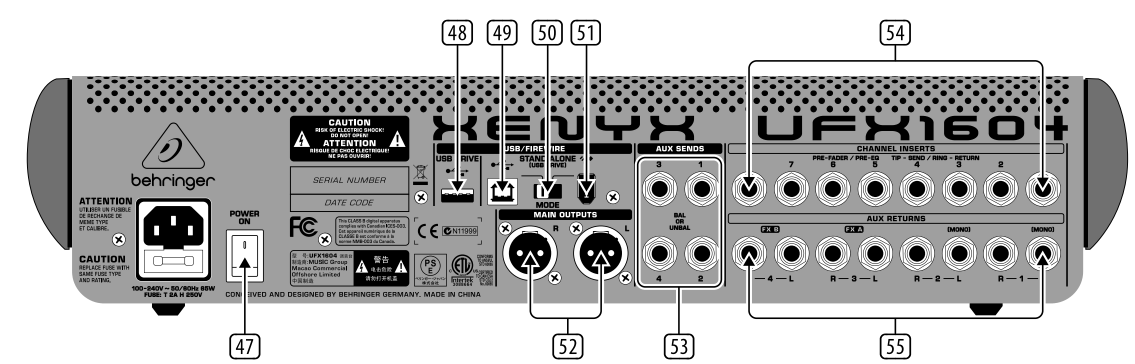
Stereo Inputs



Monitoring/Effects Controls



Sends and Returns Controls



Rear Panel Controls

XENYX UFX1604 コントロール

ステップ 2: コントロール

(1) XLR バランス入力。

(2) LINE/HI-Z 入力。

(3) LINE/HI-Z ボタン. HI-Z モードに設定されている場合は、ギターやベースなどを別途 D.I ボックスを使用せずに直接入力が可能です。

(4) +48 V ファンタム電源は 9 V DC から 48 V DC 間で動作するコンデンサーマイク使用可能です。

(5) LOW CUT ボタンは 80 Hz 以下の周波数をカットします。

(6) GAIN ノブは MIC および LINE/HI-Z 入力感度を調節します。

(7) SEND ボタンで FireWire/USB の入力信号をプリ またはポスト EQ へ送るかを選択可能です。

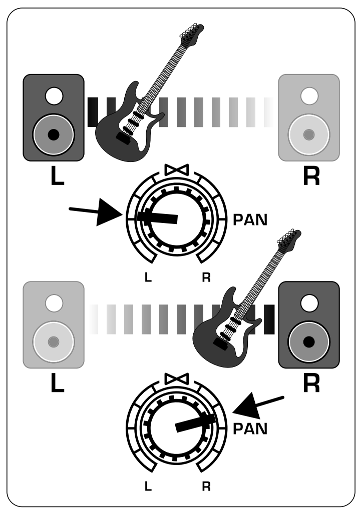
(8) COMP ノブはチャンネルに搭載されたコンプレッサーのエフェクト量を調整します。

(9) EQ ノブでチャンネルの周波数 HIGH, HIGH MID, LOW MID, LOW の調節が可能です。

(10) EQ ボタンで EQ セクションのオン・オフが可能です。

(11) AUX/FX A /FX B ノブはチャンネル信号を AUX SEND および (または) 内部 FX プロセッサーへどれだけ送るかを調節します。

(12) PAN ノブでチャンネル信号のステレオ定位を設定します。



(13) MUTE ボタンは MAIN MIX からチャンネルをミュートし、ALT 3-4 バスに信号を送ります。

(14) SOLO ボタンはソロバスあるいは PFL (PFL-プリフェーダーリッスン) バスにチャンネル信号を送ります。

(15) レベルインジケーターはチャンネルの入力信号レベルを表示します。

(16) チャンネルフェーダーはチャンネルの音量を調節します。

(17) LINE IN L と LINE IN R 端子は、モノラルおよびステレオ信号を入力します。

(18) LINE / FW1-2 (3-4) ボタンにより、これらのチャンネルに FireWire/USB 経由でルーティングされ、EQ と AUX とフェーダーの機能によってコンピュータからの信号を制御します。

(19) メモ：コンピュータに USB 接続する、もしくは USB スタンドアローンモードでは、MODE 切替スイッチ (50) の設定に応じて、すべての FireWire (FW) ルーティングスイッチが動作します。

(20) ステレオチャンネル用 4 バンド EQ。

(21) BAL (バランス) ノブは、入力信号がメインミックスバスにルーティングされる前に、左右の相対的な音量をコントロールします。

(22) CONTROL ROOM OUT 端子はエフェクトおよびメインミックス信号だけでなく、ソロチャンネルの信号も出力することが可能です。

(23) MAIN OUT 端子はパワードスピーカーおよびパワーアンプをラインレベルで接続可能です。

(24) AL3-4 OUT 端子は、レコーディング機器、パワードスピーカーまたはパワーアンプ等にメインミックスとは別のステレオミックスをラインレベルで出力します。また、サブグループ出力としても使用することが可能です。

JP

(25) CD/TAPE IN および OUT はステレオソースのメイン信号を外部録音機器に送ります。

(26) PHONES 端子はヘッドフォンを接続可能です。

(27) INPUT レベルメーターは、FX A もしくは FX B バスの入力信号を表示します。

(28) FX A エフェクトノブは適用されるエフェクトを選択します。(FX Bも同様)

(29) EDIT ノブはエフェクトのパラメータの調節をします。

(30) FX ON ボタンを押す事によりエフェクトのオン / オフが可能です。

(31) TAP/SELECT ボタンは 2 つの機能が有ります。プリセット 9 や 15 のディレイタイムやプリセット 10-12 のモジュレーションスピードを合わせるために、楽曲のテンポに合わせてボタンを数回押してみてください。ボタンをテンポに合わせクリックすると、ボタンは対応するテンポで点滅し始めます。また、TAP/SELECT ボタンはプリセット 1-8、13-14 と 16 のセカンドパラメータの特性を変更します。ボタンを押すことによって、セカンドパラメータの 2 つの異なる値 (ライト オン / オフ) を切り替えることができます。

(32) FW/USB LED はコンピュータを接続すると点灯します。(背面パネル上のセレクトスイッチに拠ります)

(33) VU METER ディスプレイは MAIN OUTPUT の入力レベルを表示します。

(34) MODE ボタンは、SOLO ボタンが 'ソロ' (ボタンアウト) または'PFL:プリフェーダーリッスン' (ボタンイン) で作動するかどうか決めます。PFL は通常ゲイン設定の目的のために用いられます。

(35) PHONES ノブは PHONE 端子の音量レベルを調整します。

(36) CONTROL RM ノブは CONTROL ROOM OUT 端子の音量を調整します。

(37) SOURCE モニタリングセレクトボタンは、CONTROL RM/PHONES 端子 (左列) あるいは MAIN MIX (右列) のいずれかへ信号を送ります。

(38) PRE/POST フェーダーのセレクトボタンは 4 つの全ての AUX SEND バス用です。

(39) AUX SEND 1-2 to FW 13-14 スイッチは FireWire/USB 経由のミキサーチャンネル 13-14 を無効にし、AUX SEND 1-2 はコンピューター (録音用等) に送ることをができます。

(40) AUX RETURN 3 のソース信号用ルーティング設定スイッチ。

(41) AUX RETURN 4 のソース信号用ルーティング設定スイッチ (MAIN バスへまたは CONTROL ROOM/PHONES バスへ設定)。

(42) ALT 3-4 バス用の MUTE, SOLO および出力 LEVEL ノブ。

(43) PRE/POST スイッチは MAIN MIX 信号を FireWire プリまたはメインフェーダーのポスト (ASSIGN TO FW 15-16 スイッチをオンにする必要があります) へ送ります。

(44) ASSIGN TO FW 15-16 スイッチは FireWire/USB 経由の MAIN MIX 信号をコンピュータまたは外部 USB ドライブに送ります (ON の場合)。OFF の場合ではミキサーチャンネル 15-16 を FireWire/USB 経由で送ることができます。

(45) TALKBACK MIC (内蔵), LEVEL ノブ (マイクの音量を調節), DESTINATION スイッチおよび TALK ボタン (押している間話す)。

(46) 16 TRACK USB DRIVE RECORDER/MIDI TRANSPORT CONTROL は MIDI マシンコントロールとして、FireWire または USB 経由でコンピュータに接続した状態で使用可能です。また、内部の USB レコーダ機能を制御するための STAND ALONE MODE で使用されます。

(47) MAIN MIX ステレオフェーダーはミキサーの全体的な出力を調整します。

(48) POWER ON でミキサーの電源が入ります。

(49) 外付け USB ハードディスクドライブ（推奨）または STAND ALONE モードでサムドライブで使用するための USB DRIVE ジャック。

(50) USB 端子によりコンピューターとの接続が可能です。

(51) MODE セレクタースイッチ。

(52) FireWire 端子によりコンピューターとの接続が可能です。

(53) バランスの XLR ケーブルで MAIN MIX を送るための MAIN OUTPUTS。

(54) AUX SENDS はバランスまたはアンバランスの ¼" ケーブルによって 4 つの AUX バス信号を送ります。

(55) CHANNEL INSERTS により、個々のチャンネル (1-8) のプリ FADER およびプリ EQ に外部エフェクトを接続することが可能です。

(56) AUX RETURNS はプロセッサーを通して AUX SEND ジャックからエフェクト信号を指定の AUX バスへステレオで戻すことが可能です。また、これらの入力はキーボードのようなライン音源を接続するために使用することもできます。

XENYX UFX1604 はじめに

ステップ 3: はじめに

1 全ての接続機器の電源をオフにして下さい。

2 ミキサーに電源、オーディオおよび FireWire/USB ケーブルを接続して下さい。

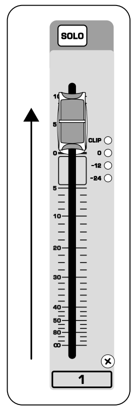
3 全てのフェーダーを下げ、全ての PAN/BAL ノブまたは、中央とその他ノブ (EQ を除く) を左いっぱいに回し切ってください。

4 ミキサーの電源を入れます。

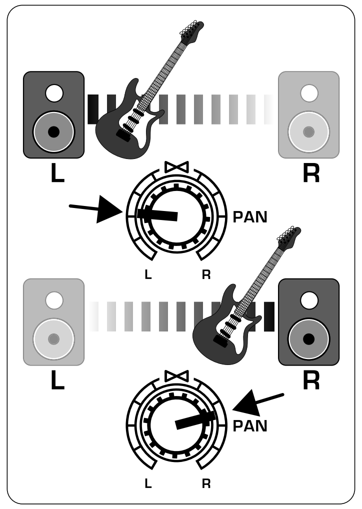
5 MAIN MIX フェーダー、PHONES、CONTROL RM および ALT 3-4 ノブを下げてから PA システムあるいはパワードモニターの電源をオンにします。

6 0 から適切なレベルまで MAIN MIX フェーダー、PHONES、CONTROL RM および ALT 3-4 ノブをゆっくりと上げてください。

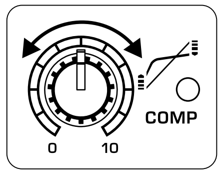
7 各 CHANNEL FADER を上げ、接続しているマイクおよび接続機器のレベルを調節してください。



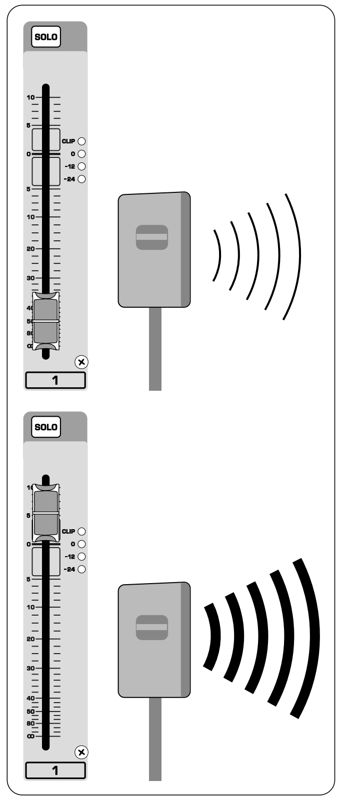
8 チャンネルの PAN または BAL ツマミで、チャンネルの左右のバランスまたは ステレオの定位を必要に応じて調整します。



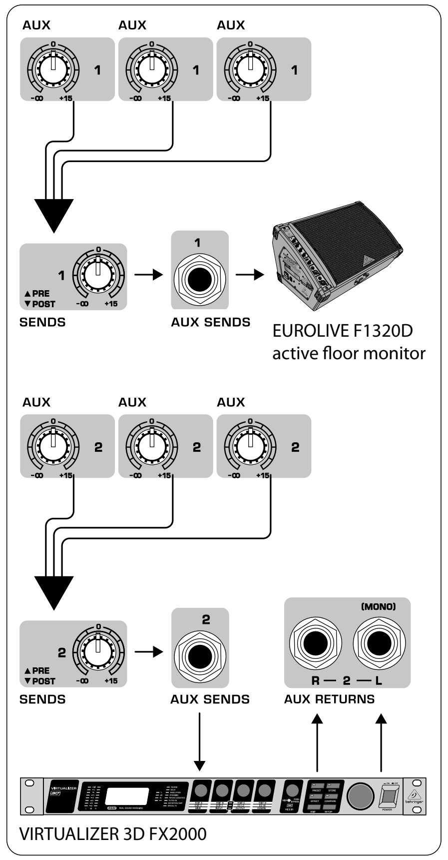
9 コンプをかける場合は COMP ノブを必要に応じて調節してください。



10 ライブ用途では、MAIN MIX フェーダーを上げミキサーからパワーアンプ、あるいはパワードスピーカーの全体的な出力を調節してください。VU METER 上の CLIP LED がつく場合は、MAIN MIX フェーダーを下げて下さい。



11 チャンネル AUX ノブおよびマスター AUX SEND ノブを使用して、AUX SEND 端子に接続された、エフェクトプロセッサーもしくはステージモニターへチャンネル信号を調節します。外部エフェクトを使用する場合は、プロセッサーから AUX RETURN ジャックに信号を送ってください。

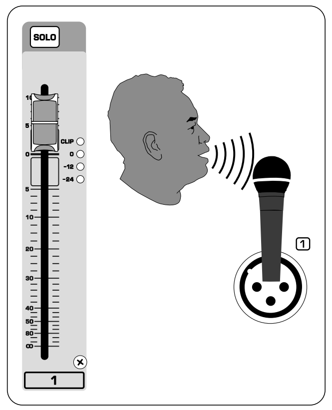


Gain Setting

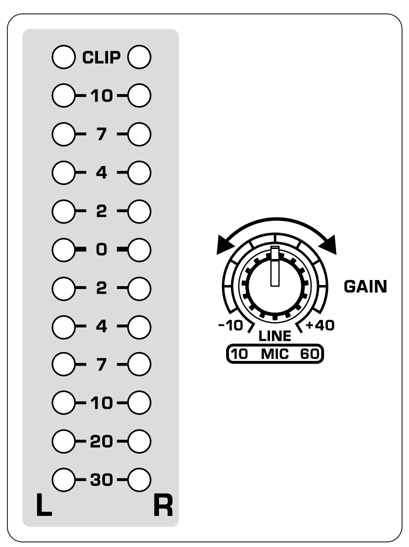
Step 4: ゲインセッティング

1 チャンネル 1 の SOLO ボタンを押します。メインセクションの VU METER 下の MODE ボタンを押すと METER が PFL (プリフェーダーリッスン) モードで動作します。

2 チャンネル 1 に接続されたマイクおよび楽器で通常レベルで発声や歌または演奏をしてください。



3 歌や演奏をしながら、チャンネル 1 の GAIN ノブを調整して下さい。VU メーターにレベルが表示されます。ゲインを設定する際、大きな音で VU メーターでピークが 0 に到達する様に調整します。再びチャンネル 1 の SOLO ボタンを押してください。



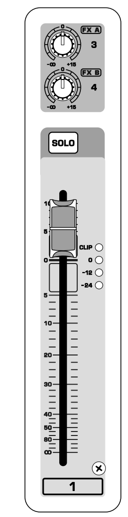
4 他のチャンネルでも 1-3 のステップを行ってください。

Dual Multi-FX Processors

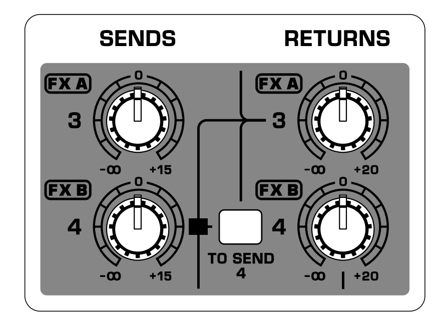
Step 5: デュアルマルチ—FX プロセッサー

ミキサーには二つのエフェクトプロセッサーが搭載されています。ひとつまたは複数のチャンネルにエフェクト効果を加えるために、これらの手順を行ってください。

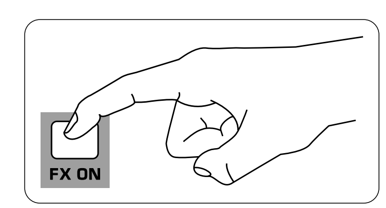
1 エフェクトを加えたい各チャンネル上で、FX A または FX B ノブを真ん中の位置まで上げてください。



2 FX SEND と FX RETURN ノブを回し "0" に合せます。後でそれらは任意に調整が可能です。

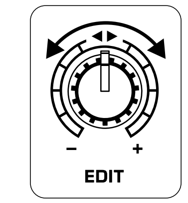


3 FX ON ボタンを押しオンにします。



4 FX A ノブ (FX B も同様) をスクロールする事によりエフェクトをチューニング可能です。

5 EDIT ノブによりエフェクトの強さの調整をします。



6 プリセット 1-8、13-14 あるいは 16 を使用し手いる場合、TAP/SELECT ボタンはセカンドパラメーター (ライトオフ / オン) の 2 つの異なったバリュー間をトグルします。プリセット 9 および 15 でディレイタイムを調節するためには、音楽のテンポに合わせ TAP/SELECT ボタンを数回押してください。同様に、プリセット 10-12 の調整速度を調節するために TAP/SELECT ボタンを数回押してください。ボタンは調整したテンポの速さで点滅します。

7 各チャンネルの FX A または FX B の FX ノブを調整し適切な値になっているかを確認してください。

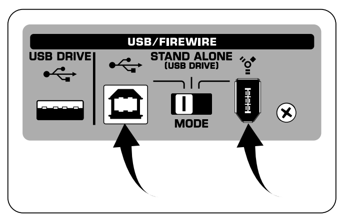
FireWire および USB レコーディング。

Step 6: FireWire および USB レコーディング

ミキサーは AD/DA コンバーターを備えており、コンピューターに音源を送受信するための FireWire および USB を備えています。

1 UFX1604 のドライバが Windows コンピュータに認識された事を確認してください。(Mac OS X にはドライバが必要ありません)。

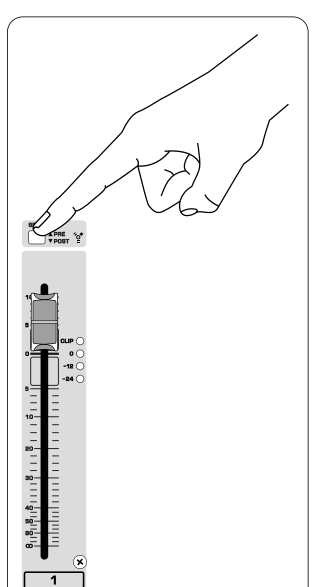
2 FireWire または USB でコンピューターにミキサーを接続してください。ミキサーのバック・パネルにある 3 ウェイスイッチでセットしてください。



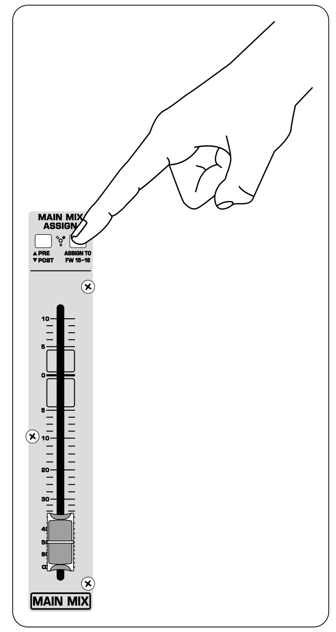
3 使用している DAW ソフトウェアで UFX1604 の入出力を選択します。

4 サンプル・レートと、ビットのデプスを DAW (デジタル・オーディオ・ワークステーション) ソフトウェアにて設定します。

5 マイク、楽器、ラインレベルの機器をチャンネルインプットへ接続します。各チャンネルはプリもしくはポスト EQ でモノまたはステレオトラックとしてレコーディングソフトウェアにレコーディング可能です。また、チャンネル 13/14 には AUX センドをレコーディング可能です。



MAIN Mix は MAIN MIX ASSIGN TO FW 15-16 ボタンを押すことによってレコーディング可能です。これによりメインミックス信号はアウトプット 15/16 から DAW へ送られます。



6 レコーディング・ソフトウェアでトラックを待機状態にし、準備ができ次第レコーディングを開始してださい。

STAND-ALONE モードでの USBドライブへのレコーディング

JP

Step 7: STAND-ALONE モードでの USB ドライブへのレコーディング

1 ミキサーの背面パネルにて STAND ALONE モードが選ばれることを確認してください。(中央位置)。

2 新しい USB ドライブが挿入された場合、ミキサーはオーディオの音質を決定するドライブの書き込み速度をテストします。結果は、TRANSPORT に表示され、CONTROL は “Lo” (16 ビット) あるいは “Hi” (24 ビット) として表示します。もしドライブのレコーディングのための速度があまりにも遅いと、テスト後「SLO」と表示されます。

3 お使いのドライブをフォーマットする必要がある場合は、■ と ◀◀ を同時に押します。TRANSPORT CONTROL 上では “For”と表示 (点滅) します。▶ を押すことにより、フォーマットの開始および停止が可能です。

4 サンプルレート設定を表示するにはサンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したままにします。

5 サンプルレートを 44.1 kHz にするにはサンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したまま ◀◀ を押します。

6 サンプルレートを 48 kHz にするにはサンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したまま ▶▶ を押します。

7 接続したマイク、楽器および機材等のソース信号は、TRANSPORT CONTROL の上の ◎ ボタンを押す事により、ファイルとして個々のチャンネルを備えた USB ドライブに新しいフォルダーを作成します。これで録音準備が整いました。

8 終了時は ■ を押してください。録音したファイルは番号 (1-99) で TRANSPORT CONTROL スクリーン上に表示されます。

9 レコーディングモードとプレイリストモードを切り替えるには TIME REMAIN と ▶▶ を同時に 2 秒間長押しします。

10 録音中にナビゲートまたは視聴をする場合には、録音モードである必要があります。プレイリストモードは、PC/Mac からドライブににコピーした WAV ファイルのみを再生するためのものです。録音モードの際に、▶ ボタンを押すと録音したものの視聴が可能です。スタートに戻るには、TRANSPORT CONTROL 上の ◀◀ ボタンをもう一度押してください。◀◀ を二回押し、前の録音に移動します。▶▶ を 1 回押すと次の録音のスタートへ移動します。注: ◀◀ または ▶▶ を長押しする事によりトラック内の早送り / 巻き戻しはできません。MAIN MIX 信号を FW 15-16 (MAIN MIX ASSIGN セクション中) への送らないかぎり、トラック 15/16 はチャンネル 15/16 上で再生されます。これにより MAIN MIX 信号はチャンネル 15 および 16 経由で録音・再生可能です。この状態では、13/14 のチャンネルおよびボタンはバイパスされます。

11 シングル再生と連続再生モードを切り替えるには (プレイリストモード) ▶ を長押しして下さい。

12 レコーディングモードで曲の削除を行う際には、再生や録音を停止し、▶ と ▶▶ を同時に押して行います。削除を完了するには ▶ キャンセルを行う場合は ■ を押します。

13 IMPORTANT NOTE: USB レコーダーは wav ファイルで 44.1 または 48.0 kHz のサンプルレート、サブフォルダ無しの “MyWav.” とラベルがついているフォルダから認識され再生することがでます。

STAND-ALONE モードでの USBドライブへのレコーディング

Step 7: STAND-ALONE モードでの USB ドライブへのレコーディング

トランスポートコントロール機能チャート	
残り時間の表示	TIME REMAIN を短く押す
サンプルレート表示	サンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したままにする
44.1 kHz サンプルレートを選択	TIME REMAIN を長押しした後に を押すサンプルレート表示中に TIME REMAIN を押したまま を押す
48 kHz サンプルレートを選択	TIME REMAIN を押したまま を押す
PLAY <> PAUSE の切替	PLAY を押す(スタート) > PLAY を押す (一時停止) > PLAY を押す (再生) > その他.
レコーディング (例 “001”) < >プレイリストモード (例“P01”) 切替	TIME REMAIN と を同時に 2 秒間長押し
1 曲再生 (“Pxx”) < >プレイリスト連続再生 (“cxx”) [プレイリストモードのみ]切替	PLAY を 2 秒間長押し
USB ドライブ*の FAT フォーマット	STOP と を同時に 2 秒間長押し
現在のソングを削除 (レコーディングモードにて)*	PLAY と を同時に 2 秒間長押し

*確認は PLAY を押す / その他ボタンは強制終了

エラーコード :	
DrP	レコーディング中にドロップアウト発生時。レコーディング後ドロップアウトの合計を表示 (e.g. d03)
FSE	ファイルシステムエラー: ドライブが互換性のないファイルシステムである時。ドライブは UFX でフォーマットされていることが必要。
oFF	レコーダーオフ: ドライブが SLO (遅すぎる) と認識された時。
SLO	接続された USB ドライブが遅すぎる場合にはレコーディングができません。

内臓 USB レコーダーには USB メモリーや 2.5" USB バスパワー供給の外部ドライブは動作可能ですが、外付け電源供給のハードドライブの使用を推奨します。

で MIDI CONTROL を扱う際の機能

Step 8: MIDI CONTROL を扱う際の機能

UFX1604 の TRANSPORT CONTROL セクション内の 2 つの MIDI コントローラーモードのうち 1 つを選択し MIDI をコントロールすることができます: STANDARD MIDI MODE または MACKIE CONTROL MODE。

1. 必ずミキサーの電源をオフにして下さい。

2. MACKIE CONTROL MODE を選択するには、 を押しながら電源を投入後 を離すと、ディスプレイに “MAC” と表示がされます。STANDARD MIDI MODE を選択するには、 を押しながら電源を投入後 を離すと、ディスプレイに “STD” と表示がされます。

3. STANDARD MIDI MODE では UFX1604 の TRANSPORT CONTROL ボタンで、レコーディングソフトウェアのマップでトランスポートコントロールが可能です。MACKIE CONTROL MODE ではお使いのレコーディングソフトウェアのプロトコルに従います。

その他の情報、マニュアルは behringer.com をご覧下さい。

JP

技術仕様

モノ入力	
マイク入力 (XENYX マイクプリアンプ)	8
タイプ	XLR, 電子バランス, ディスクリート入力回路採用
Mic E.I.N.1 (20 Hz - 20 kHz)	
@ 0 Ω ソース抵抗	-129 dB / 132 dB A-weighted
@ 50 Ω ソース抵抗	-128 dB / 130.5 dB A-weighted
@ 150 Ω ソース抵抗	-126 dB / 129 dB A-weighted
周波数特性	<10 Hz – 140 kHz (-1 dB) <10 Hz – 200 kHz (-3 dB)
増幅幅	+10 dB to +60 dB
最大入力レベル	+12 dBu @ +10 dB ゲイン
インピーダンス	約 2.06 kΩ バランス
S/N 比	112 dB A-weighted (-10 dBu in @ +32 dB ゲイン)
全高調波歪率 (THD+N)	0.0045% (-20 dBu in @ +20 dB ゲイン)
ファンタム電源	+48 V, 各マイクチャンネル毎にスイッチ有
Hi-Z 入力インピーダンス	1 MΩ
ライン入力	
タイプ	¼" TRS 端子,バランス
インピーダンス	20 kΩ バランス, 10 kΩ アンバランス
増幅幅	-10 dB to +40 dB
最大入力レベル	30 dBu
ステレオ入力	
タイプ	¼" TRS 端子, バランス
インピーダンス	20 kΩ バランス, 10 kΩ アンバランス
増幅幅	-20 dB to +20 dB
最大入力レベル	+22 dBu
CD/Tape 入力	
タイプ	RCA 端子
インピーダンス	10 kΩ
最大入力レベル	+22 dBu
EQ モノラル チャンネル	
Low	80 Hz / ±15 dB
Low mid	100 Hz to 2 kHz / ±15 dB
High mid	400 Hz to 8 kHz / ±15 dB
High	12 kHz / ±15 dB
Low cut	80 Hz,18 dB/oct.
EQ ステレオ チャンネル	
Low	80 Hz / ±15 dB
Low mid	300 Hz / ±15 dB
High mid	3 kHz / ±15 dB
High	12 kHz / ±15 dB

チャンネルインサート	
タイプ	¼" TRS 端子, アンバランス
最大入力レベル	+22 dBu
クロストーク	
メインフェーダー クローズド	90 dB
チャンネル ミュート	88 dB
チャンネルフェーダークローズド	88 dB
Aux センド	
タイプ	¼" TS 端子, アンバランス
インピーダンス	120 Ω
最大出力レベル	+22 dBu
Aux リターン	
タイプ	¼" TRS 端子, バランス
インピーダンス	20 kΩ バランス, 10 kΩ アンバランス
最大入力レベル	+22 dBu
メイン出力	
タイプ	XLR および 1/4" TRS バランス
インピーダンス	240 Ω バランス, 120 Ω アンバランス
最大出力レベル	+28 dBu
コントロールルーム出力	
タイプ	¼" TS 端子, アンバランス
インピーダンス	120 Ω
最大出力レベル	+22 dBu
デュアルフォーン出力	
タイプ	¼" TRS 端子, アンバランス
最大出力レベル	+22 dBu / 23 Ω - 300 mW @ 100 Ω
CD/Tape 出力	
タイプ	RCA 端子
インピーダンス	1 kΩ
最大出力レベル	+22 dBu
デュアルエフェクト	
コンバーター	2 x 24-bit デルタ-シグマ, 128 - タイム
サンプリングレート	48 kHz
FireWire/USB インターフェイス	
オペレーションモード	FireWire 400 または USB 2.0
端子	6-ピン FireWire 400 (IEEE1394A), USB 2.0 Type B
コンバーター	24-bit
サンプルレート	44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz
チャンネル数	16 x 4 入力 / 出力
動作環境	Windows XP または以降, Mac OS X
低レイテンシーオーディオサポート	ASIO (Win), CoreAudio (Mac)
トランスポートセクション MIDI コントロール	Standard MIDI mode (CC/note コマンド) および Mackie control mode

USB レコーダー (スタンドアローンモード)	
端子	USB 2.0 (Type A)
記憶装置	内臓 USB レコーダーには USB メモリーや 2.5" USB バスパワー供給の外部ドライブは動作可能ですが, 外付け電源供給のハードドライブの使用を推奨します。
サンプルレート	44.1 kHz, 48 kHz
ファイル形式	WAV (非圧縮)
ファイルシステム	FAT 16 / FAT 32
記録チャンネル数	16 トラック (モノラルの WAV ファイルとして保存)
電源	
電圧	100 - 240 V~, 50/60 Hz
消費電力	65 W
ヒューズ (100 - 230 V~, 50/60 Hz)	T 2A H 250 V
端子	標準 IEC コネクター
寸法/重量	
寸法 (高 x 幅 x 奥行)	105 x 445 x 547.5 mm (4.1 x 17.5 x 21.6")
重量	7.3 kg (16.1 lbs)

エフェクト No.	エフェクト	EDIT パラメーター 1	TAP/SELECT パラメーター 2	TAP/SELECT LED
1	CATHEDRAL	リバーブタイム	ブリリアンス	オフ/オン
2	CONCERT	リバーブタイム	ブリリアンス	オフ/オン
3	CLUB	リバーブタイム	ブリリアンス	オフ/オン
4	CHAMBER	リバーブタイム	ブリリアンス	オフ/オン
5	GOLD PLATE	リバーブタイム	ブリリアンス	オフ/オン
6	GATED REV	リバーブタイム	ブリリアンス	オフ/オン
7	REVERSE	リバーブタイム	ブリリアンス	オフ/オン
8	AMBIENCE	ルームサイズ	ブリリアンス	オフ/オン
9	DELAY	繰り返し数	時間間隔 TAP	点滅 (BPMテンポ)
10	CHORUS	強度	テンポ TAP	点滅 (BPMテンポ)
11	FLANGER	強度	テンポ TAP	点滅 (BPMテンポ)
12	PHASER	強度	テンポ TAP	点滅 (BPMテンポ)
13	ROTARY	強度	テンポ	オフ/オン
14	PITCH SHIFT	半音ずつ (+/-12)	デチューン	オフ/オン
15	DELAY + REV	ディレイ/リバーブ比率	時間間隔 TAP	点滅 (BPMテンポ)
16	CHORUS + REV	コーラス/リバーブ比率	リバーブタイム	オフ/オン

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You